夏季環境体験学習(３年生)に向けての下見　報告

２０２５．５．３１　吉田小恵子

日時；２０２５年5月３０日　９：３０～１１：５０

参加者：軸屋、加藤、沼田、吉田、藤裏、高橋、小山、小西、池田、樋口、森本、鹿本、木村俊

計　１３名

下見の目的；３年生の環境体験学習の１回目。水生の生き物を捕獲、観察するため、適切な場所を選定したい。川底の状態、水の流れなどを見ながら、安全に観察のできる場所を見つける。できれば生き物を採取してみる。

＜末広小学校＞

・校舎が見える河原。以前に比べて雑草などの植物がほとんどない。中州に隔てられた緩やかな流れの場所で、石ころと藻が多い。滑らないように注意を促す。
・河原へ降りるとき、児童の補助が必要。
・靴下着用で水に入ってみると、砂が入っても足に痛みや違和感がなく、快適だった（高橋さんの試行による)。児童にも勧めてみる。
・網を入れて、生き物の捕獲を試みる（木村俊さんによる)。
　カワヨシノボリ（流れのあるところで見られる)、シジミ、コカゲロウのなかま、ウズムシ、ガガンボのなかま、ミズムシなどが確認される。カワヨシノボリ・シジミ以外極めて小さい。
・中州に、コチドリの巣がある。もし、実施日も巣が続けて使われているときは、児童に入っていかないよう注意する必要がある。

武庫川本流に流れ込むところ

緩やかだが流れがある

カワヨシノボリ

コチドリの巣のある場所

＜光明・末成小学校＞

・水が少なく、昨年の淀みは見られず、なかなか生き物が見つかりそうな場所が定まらない。何か所か移動して、石が多く川底も浅い場所を選定。
・児童の荷物は河原まで持って降りる。
・河原へ降りるとき、児童への補助が必要。

＜下見雑感＞

木々や雑草が少なくなっている。生き物の存在があまり見えないが、極小さい魚はたくさんいた。天候に悩まされたが、予報と違って好天に恵まれた。本番も晴れてほしい。移動する間、足下のたくさんのニワゼキショウ、トノサマバッタの幼虫、ケリの鳴き声と飛び立つ姿を楽しんだ。